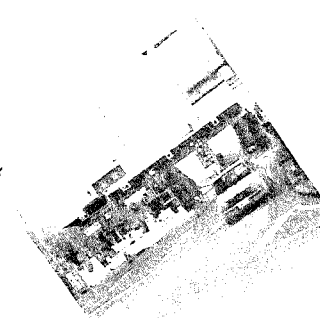


都留市の将来のまちづくりの展望など、各地域を代表する皆さんに出席していただき、市長の市政運営の基本方針であります『市民一人ひとりが主役のまちづくり』実現のため、市政全般にわたり自由に話し合いのできる場として、このほど、「市民とともに市政を語る会」を市内九地区で開催しました。

出席者からは、身近な話題をはじめ二十一世紀に向けた市のまちづくりなど様々な意見が出され、市の発展・住みよい地域づくりなどについて活発に話し合いが行われました。



## フルインター 早期実現を！



**市長** 以前は、請願インターとして、道路公団へ申請をして建設してもらったものであったのですが、その後、開発インターといって、インターチェンジができることによってメリットのある周辺企業が資金を出し合って建設する制度となり、現在の社会経済状況では実現が難しくなっています。しかし、この一年、少し方向が変わってきて別の制度でも建設できる可能性が出て来ました。隣接する西桂町、道志村、秋山村とも連携して実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

## 市街地の 空洞化について



## 火葬場の建て替えは？

**市長** 火葬場につきましては、平成7年に隣の東京電波(株)から用地を取得して整備計画を進めていたことが隣接住民の同意が得られないこと、大月市においても建て替えを予定していることなどから、現在、広域化を含め、広い範囲で検討中です。

**市長** 市街地の活性化には、消費者ニーズの多様化や車社会の進展、大型店の出店、後継者問題などで、非常に厳しい状況にあり、市でも力を入れて取り組んでいます。このようなか中で、昨年、県の「商店街イメージアップ事業」を取り入れ、栄町の商店街で街灯をはずして壁にかけたことにより道路が広くなり買物がしやすくなりました。

そのほかにも、いま県の「リーディング商店街創出モデル事業」に立候補しているところですが、これからも、多くの皆さんから色々なアイデアをいただきながら、駐車場の確保や空き家対策など活性化のための支援を、ソフト・ハード両面から行っていきたいと思っています。